第15回総務経済常任委員会会議記録

開閉会日時	令和４年12月20日（火曜）　午後１時３０分　開会			
	休　憩　13:35-36　13:46-47　14:43-15:00			
	午後３時０６分　閉会			
	休憩時間：０時間19分　会議時間：１時間１７分			
会議場所	役場３階委員会室			
出席委員氏名	委員長　鈴木　健充	委　員　梶澤　幸治		
	委　員　寺町　平一			
	委　員　中村　和宏			
	委　員　立川　美穂			
説明員	政策推進課長	石田　哲	商工労政課長	仲野　裕司
	課長補佐	松田　奈巳	課長補佐	中村　宗紀
	政策調整係	藤村　勇貴	商業振興係	平山　亮輔
	魅力創造課長	西田　昌樹	環境土木課長	橋本　直樹
	魅力創造係長	大石　秀人	課長補佐	齋藤　和也
	魅力創造係	近藤　猛児	農林課長	我妻　修一
			課長補佐	剣持　和裕
参考人				
欠席委員氏名	副委員長　中田千惠子			
事務局職員	事務局長　安田　敦史	総務係長　佐藤　史彦		

『会議に付した事件と会議結果など』

1　開　会

委員長が開会を告げ、中田委員の欠席の旨を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2　議　件

・委員長：お諮りする。農林課より「令和４年産農畜産物の生産見込みについて」報告の申し出があったので、日程に報告を追加したい。異議ないか。
（異議なし）

・委員長：資料配布のため、暫時休憩する。
（休憩）

・委員長：休憩を取り消し、委員会を再開する。追加報告事項「令和４年産農畜産物の生産見込みについて」報告を求める。

・農林課長：資料説明（粗生産額概算推計約330億円。前年対比31億円減。）

・委員長：以上で報告事項を終了する。

（１）調査事項

ア　まちなか再生ビジョン策定状況について　資料１

・魅力創造課長：資料説明（全体経過、全体経過のうち「まちなか再生ビジョン検討委員会の経過」、今後の予定）
・委員長：意見・質疑はないか？
・立川委員：検討会議の中で「箱物」に関する意見や要望はあったか？
・魅力創造課長：「参考資料３」に整理しているが、「もの・場所」という議論の中でいくつか意見は出されている。
・立川委員：例えば、現存の施設の活用に関する声はなかったか？
・魅力創造課長：明確な意見はない。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ　ごみ処理基本計画の取組状況等について　資料 2-1. 2-2

・環境土木課長：「資料２－1」は担当課長補佐から、「資料２－2」は課長から説明する旨を告げる。
・課長補佐（齋藤）：「資料２－1」説明（令和３・４年度実施：重点取組事項）
・環境土木課長：「資料２－2」説明（新中間処理施設整備基本計画（原案）概要版）
・委員長：「資料２－1」について、意見・質疑はないか？
・梶澤委員：食品ロス計画の策定スケジュールは？
・課長補佐（齋藤）：令和４～５年度にかけて検討したい。
・梶澤委員：関連計画として例示いただきたい。
・課長補佐（齋藤）：食に関する計画が関連する。具体的には今後の検討事項となる。
・梶澤委員：次の調査事項にも関連するが、同様の考えとなるのか？
・課長補佐（齋藤）：趣旨は同様である。計画の構成は別途検討となる。
・立川委員：事業系一般廃棄物の資源化・減量化について、具体的に可能性のある廃棄物はあるか？
・課長補佐（齋藤）：先進事例などを見ながら、今後調査研究して取り組んでいきたい。
・立川委員：道北の自治体が連携して「おむつ」の燃料化の検討がなされている。本町においては、どのような検討を予定しているか？
・課長補佐（齋藤）：取組みは把握しているが、本町において現時点では検討していない。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：次に「資料２－2」について、意見・質疑はないか？
・梶澤委員：令和 9 年度が供用開始となっているが、物価高騰等など最近の情勢を踏まえた組合議会の感触は？
・環境土木課長：議会内では、予定通りの運用を目指して取り組む姿勢である。

・梶澤委員：帯広市議会では委員会で闊達な議論が重ねられている。組合議会での決定については、各自治体との情報共有や意思の反映が基本と考えるが、町としてどのように考えるか？
・課環境土木長：組合議会の意思決定については、管内すべての自治体の担当課長会議、副町長会議のほか、正副議長等も構成員となる会議体等もあり、それぞれのプロセスを経ながら検討がステップアップしている。これで十分という検討体制には限界はあるかもしれないが、この場での意見も大切に取扱いながら意思決定に向けて取り組んでいきたい。
・梶澤委員：検討プロセスにはきめ細かな配慮を期待するが、町としてどのように考えるか。
・環境土木課長：十分にそれぞれの意見が反映できるよう、組合議会に対して伝えていきたい。
・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ　新エネルギー対策に係る状況等について　資料 3-1. 3-2. 3-3
・環境土木課長：「資料３－1」は課長補佐から、「資料３－3」は課長から説明する旨を告げる。
・課長補佐（齋藤）：「資料 3－1」説明＜「芽室町地域新エネルギービジョン進ちょく状況（概要版／H19-R2)」＞
・環境土木課長：「資料３－2」「資料３－3」説明（「ゼロカーボンに向けた取組について」「第３期芽室町地球温暖化防止実行計画（事務事業編)」＞
・委員長：「資料３－1」について、意見・質疑はないか？
・梶澤委員：太陽光発電システム補助実績について、資料（Ｐ12：芽室町のエネルギー消費量と二酸化炭素排出量）に記載されているのは町補助対象と捉えるが、この外も含めて数値を把握されているか？
・課長補佐：この資料では、町の補助のみの把握となっているが、国の調査では全数把握している。
・立川委員：森林の吸収率というデータはあるか？
・課長補佐：把握していない。ただし、今後の分析データとしては存在することになる。
・梶澤委員：部門別の使用エネルギーとして、例えば農業部門の根拠は？
・課長補佐：運搬等を除く部門が農業部門となっている。
・立川委員：家畜から排出される二酸化炭素は？
・課長補佐：農業部門である。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：次に「資料３－2」及び「資料３－3」について、意見・質疑はないか？
・中村委員：町民の意識の向上が重要なキーワードと考えるが、町としていかがか？
・環境土木課長：御提言のとおり、町民とともに検討していきたい。
・委員長：他にないか？

・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ　令和４年度総務経済常任委員会の抽出事業について　当日資料４
・委員長：昨年度から継続し「子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク」について、調査をしてきた。また、今年度は老人クラブ連合会との意見交換の開催や、参考資料として添付した「新嵐山スカイパークに関するアンケート調査」も実施した。そこで、年度の区切りとして２月中をめどに「まとめ」を整理したい。異議ないか？
・（異議なし）
・委員長：調査事項「エ」を終了する。

・委員長：自由討議について諮る。調査事項「ア」について意見はないか？
・（意見なし）
・委員長：以上で、調査事項「ア」の自由討議を終了する。

・委員長：調査事項「イ」について自由討議はないか？
・（なし）
・委員長：以上で、調査事項「イ」の自由討議を終了する。

・委員長：調査事項「ウ」について自由討議はないか？
・（なし）
・委員長：以上で、調査事項「ウ」の自由討議を終了する。

３　その他
（１）次回委員会の開催日程について
正副委員長一任

（２）その他
・委員長：「その他」で各委員からないか？
・（なし）
・委員長：事務局からないか？
・（なし）
以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍 聴 者 数	一般者	０名	報道関係者	１名	議　員	０名	合計	０名

令和４年 12 月 20 日

総務経済常任委員会委員長　鈴　木　健　充